

学習保障や水泳指導・部活動の実施など例年と違うこの夏

暑い・熱い今年の夏をどう乗り切るか!

新型コロナウイルス感染症対策の今後の見通しがまだまだ不透明な状況の中で、早め早めの状況把握とそれに対する対策の準備や実施が学校の危機を救います。次のような点について再度確認をし、例年と違う今年の夏に備えましょう。

【学習保障】

- 1学期の学習状況の確認は、指導内容とともに指導時間数も。
- 夏季休業期間の短縮等、学習指導に必要な時間確保の検討。
- 学校での学習と家庭での学習のつながりをもたせる工夫。(家庭学習課題)
- 感染症や熱中症対策等、学習・生活環境の整備。
- 児童・生徒、保護者への周知。

【その他】

- スクールバスの運行等の調整。
- 給食の実施の調整。
- 登下校時の熱中症等安全対策。
- 放課後児童クラブ等との調整。
- 期間中の地域と連携した行事等関係団体との調整。

【水泳指導】(小・中学校)

- 市町村教育委員会の対策確認。
- 実施する場合の準備や実施の期間・仕方の検討。感染症予防、熱中症対策。
- 学校医や学校薬剤師、関係機関や業者との調整。
- 開放プールについてPTAと協議。(小学校)
- 児童や保護者への周知。

【部活動】(中学校)

- 市町村教育委員会の対策確認。
- 実施する場合の準備や実施の期間や仕方の検討。感染症予防対策。
- 外部指導者等への連絡確認。
- 生徒や保護者への周知。
- 熱中症対策など健康管理対策も十分に。